

# 暑中お見舞い 申し上げます



厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方にはお元気で過ごすごしのこととお喜び申し上げます。

本年は梅雨の期間が短かったため、落雷などによる被害はございましたが、幸いなことに大きな災害にまでは至らなかった事に、ひと安心しているところでございます。

しかしながら、国内においては岩手・宮城内陸地震による甚大な被害が発生し、また隣国中国の四川でも大地震が、ミャンマーでは大型サイクロンが直撃するなど、自然の猛威による大災害が記憶に新しいところでございます。被災された方々に対しまして心からお見舞い申し上げますとともに、尊い命を落とされた犠牲者の方々には、謹んでご冥福をお祈りいたします。

さて、台風常襲地といわれる本県におきましては、台風等による災害に備えるシーズンはまだこれからという認識の下に、町民の皆様方の生命と財産を守るといふ大きな使命を果たすべく、今後も防災対策に万全を尽くしてまいりたいと思っておりますので、町民各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## ◆市町村合併について

本町における最重要課題でありまして「市町村合併」問題につきましましては、合併推進の立場で努力してきておりますが、合併特例新法の期限内での志布志市との合併を実現するためには、編入合併もやむなしと判断したところでございます。

そこで、合併の相手方として考えております志布志市に対し、今月中旬に正式な合併協議会設置の申し入れをする予定でございましたが、去る7月31日に開催されました「大崎町議会合併問題調査特別委員会」において町議会としては「編入合併」を前提とした申し入れは行わないこととなりました。

したがって、今後は本町と町民の皆様の将来にとりまして、より良い方向性を探りながら、町議会との相互理解を深める努力を重ねてまいります。

## ◆災害対策

台風や集中豪雨、地震などの大規模災害に備え、ひとり暮らしや寝たきりの高齢者、障害者の方々など、災害時に自力では迅速な避難行動が

できない災害時要援護者の避難誘導体制を確立するため、災害時要援護者避難支援プランを策定いたしました。今後は、このプランに基づき、災害時要援護者の方々を含めた町民の皆様の安全を第一に考えた施策に取り組んでまいります。

また、「自らの身の安全は、自ら守る」という自助と、「地域の安全は、地域の皆で守る」という共助を基本においた「自主防災組織」の設立にも、町民の皆様や地元企業の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、努めてまいります。

## ◆環境先進町（地球にやさしい町）

環境省がとりまとめ今年6月に発表した「平成18年度ごみリサイクル率調査（10万人未満の市町村の部）」で大崎町が全国で一位となりました。また、環境省が主催した温暖化防止の優れた取り組みを競う「ストップ温暖化『一村一品』大作戦全国大会」に、鹿児島県代表として参加した大崎町の「知恵の環、ひとの環、資源の環」が特別賞の「地域循環賞」を受賞しました。このことは、

町民の皆様や地元企業の方々、そして行政の3者が一体となって取り組んできたことが高く評価されたものであると思っております。これまでに色々な面でご協力くださった皆様に厚くお礼申し上げますとともに、環境問題に取り組む先進町として全国

に向け情報発信していくために、今

後も引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

## ◆スポーツのまち大崎

アメリカ大リーグのカブスで活躍する福留選手をはじめ、国内では埼玉西武ライオンズで活躍する赤田将吾選手、更に今年には広島東洋カープに松山竜平選手が入団するなど、スポーツのまち大崎の名を広く全国に知らしめてくれました。また、野球以外でもソフトボールや剣道、空手など様々な競技で本町出身の皆さんが素晴らしい成果をあげておられ、本町の子供たちに夢と頑張る気持ちを与えてくれると感謝しております。本町におきましても、ビーチスポーツやドッジボール、フットサルなどの各種大会を開催しており、スポーツのまち大崎としての情報も日本全国に発信してきております。

私ども地方行政を取り巻く環境は依然として厳しく、抱える課題も多種多様でございますが、愛する大崎町発展のため、そして住民福祉向上のため、今後も全力を傾注してまいります。

皆様には、くれぐれもご自愛くださるようお願いいたします。暑中のご挨拶いたします。

平成20年 盛夏

大崎町長

他職員一同